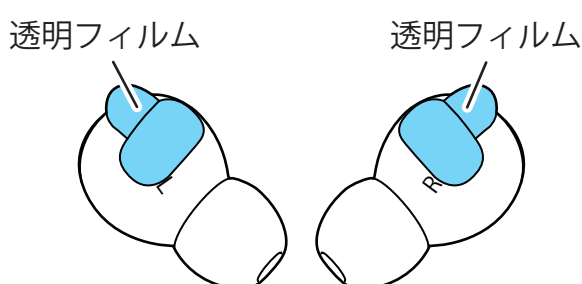


## 取扱説明書B

接続機器名/	BTW13X
パスキー/	0000 (ゼロを4つ)

## お取り扱いいただく前に

●イヤホン本体裏側の透明フィルムを必ず剥がしてからご使用ください。



※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/ミュージックプレイヤーなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続機器」もしくは「携帯電話」と表記しております。

### ペアリングの手順(一般的なスマートフォンの場合)

	手順①	手順②	手順③	手順④	手順⑤	手順⑥	
接続機器	電源オン状態	設定からBluetooth選択 BluetoothをONにする	Bluetooth 周辺機器検索	検索 結果 表示 使用可能 機器リスト BTW13X	BTW 13X 機種番号を 指でタップ 機器認証	接続完了表示	ペアリング完了
本機	イヤホンが充電された状態	ケースから取り出す	左右のリンク(自動)	ペアリングモード中は左右いずれかのLEDが緑と白の交互点滅	「コネクティッド」 機器と接続	スタンバイモード	

- ①本機と接続機器(Bluetooth対応機種/電源オン状態)を手元(30cm以内の距離を推奨)に置いて準備します。
- ②スマートフォンの場合、[メニュー]や[アプリケーション一覧]から[設定]を開き、[Bluetooth]の項目を選択し、Bluetooth機能を「ON」にします。  
本機は充電ケースから取り出すと電源がオンになり、自動的にペアリングモードになります。
- ③本機のペアリングモードは約5分間継続します。(以下手順⑥までをペアリングモード中に完了してください。)  
接続機器側で周辺機器(本機)の検索(サーチ)をします。(例：「メニュー」→「設定」→「Bluetooth」→「BluetoothをON」→「周辺デバイス検索(サーチ/更新)」)
- ④携帯電話の画面にリスト(Android…[使用可能な機器リスト]など、iPhone…[その他のデバイス]など)が表示され、検索が終わるまで待つと「BTW13X」がリストアップされます。
- ⑤表示された「BTW13X」をタップ(選択)します。  
※接続機器によってはPINキー入力を求められる場合があるので、その場合パスキー「0000(ゼロを4つ)」を入力します。(プロファイル登録は「ハンズフリー」で行ってください。)  
※パスキー入力前に「携帯電話の機器認証番号」の入力を求められる機種があります。その場合は予めお客様が携帯電話機に登録した暗証番号を入力してください。
- ⑥数秒待って認証が成功すると「コネクティッド」というアナウンス音声が流れ、ペアリングが完了します。携帯電話の画面には「接続」「ペアリング成功」「登録完了」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示になります。  
※iPhoneやスマートフォン以外の携帯電話機の場合は、ペアリング登録の後で別途手動で接続を行う場合があります。その場合はHFP(ハンズフリー接続)で接続してください。  
※失敗した場合は、充電ケースに入れ直し、もう一度ペアリングモードにして登録をお試しください。

- 接続中の携帯電話が機器の通信範囲(約10m)から離れた場合、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試行します。
- 10m以内に戻っても自動接続しない場合は、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「BTW13X」を選択して再接続を試みてください。
- 携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「BTW13X」を選択して再接続をします。

## 取り扱い上の注意

- 以下の注意事項をお読みの上、正しくご使用ください。
- 注意事項に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	してはいけい禁止事項を示します。	必ず実行していただく指示となります。
------------------------------	------------------	--------------------

## 警告

ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

- 屋外で使用する際は、周りの安全に十分注意してください。  
交通事故などの原因になります。
- イヤホンが直接触れる耳や肌に異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になる恐れがあります。
- 万一、異臭・発煙・変形や内蔵電池の液漏れなどの異常が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
- 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源をお切りください。
- 自転車、オートバイ、自動車などの運転中には絶対に使用しないでください。  
交通事故の原因になります。
- 本製品を火中に投下したり、火元の近くや直射日光の当たる場所、高温になる場所で使用・充電・保管しないでください。  
内蔵電池の爆発や破裂によって、重大な事故の原因になります。
- 本製品を濡らさないでください。  
本製品は完全防水ではありません。また充電ケースは非防水です。水分にさらされたり内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。イヤホンの充電端子が濡れた場合は、乾いた布で水気を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。
- 分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。  
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、USBケーブルをきつく結んだり傷つける行為はおやめください。
- 小さなお子様(乳幼児)やペットなどにご与えたり、接触できる場所に放置しないでください。  
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。
- 本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。  
本製品の使用周波数帯では、電子レンジや自動ドア、産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。
- 飛行機に搭乗する際は、航空会社の方針に従ってください。  
航空機内でのご使用に際しては、各航空会社によってはBluetoothを使った通信機器製品が使用できない場合があります。その場合は指示に従って取り扱ってください。使用できない場合は搭乗前に予め電源を切ってください。

## 注意

ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

- 各プラグを抜く際は、必ず水平にゆっくりと引き抜いてください。  
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。
- 定期的に充電してください。  
長期間使用しない場合でも、1か月に1度を目安に充電してください。内蔵電池の膨脹や劣化の原因となります。
- 極端な低温(0℃以下)での保管、放置はやめてください。  
傷がついたり、表面の印刷・塗装がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。
- ポケットやバッグに収納するときは、ケーブルなどを繋ぐ、イヤホンの電源をオフにしてください。  
衝撃や無理な力で故障の原因になったり、メインスイッチが押されて、誤って通信をしようおそれがあります。
- 付属しているケーブル以外で、イヤホンで充電しないでください。  
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- イヤホンのLED光源を直視しないでください。  
目の健康をそこねるおそれがあります。
- 本製品の使用温度は0～50℃、保管温度は0～50℃です。それ以外の環境でご使用、保管はおやめください。また湿度の高い場所、埃の多い場所に保管しないでください。  
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- クリーニングするときに有機溶剤や研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。  
傷がついたり、表面の印刷・塗装がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。
- 大きな音量で長時間使用しないでください。  
耳の健康を損ねるおそれがあります。

●廃棄について  
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従ってください。  
本製品には、リチウムイオンポリマー電池(Li-PO)が使われています。

## 製品に付属の取扱説明書Aおよび接続する機器の取扱説明書もご確認ください。

## 困った時は…

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度読みになり、操作に誤りがないか確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法

- 携帯電話で検索(サーチ)しても本機の名「SINC BTW13X」が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
- ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話・音楽再生できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- ②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。

上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の名「SINC BTW13X」を削除し、再度ペアリングしてください。

## トラブルシューティング

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンおよび充電ケースが充電できているかご確認ください。 イヤホン充電ケースに入れ直し、接続端子と正しく接触されているかご確認ください。 イヤホンの反発などにより接続端子がしっかりと接触できていない可能性があります。 イヤホンおよび充電ケースの接続端子に汚れなどの付着がないかご確認ください。
イヤホンが充電されない ケースに戻しても電源がオフにならない	充電ケースの電池残量が少なくなっていないか? イヤホン充電ケースに入れ直し、接続端子と正しく接触されているかご確認ください。 イヤホンの反発などにより接続端子がしっかりと接触できていない可能性があります。 イヤホンおよび充電ケースの接続端子に汚れなどの付着がないかご確認ください。
ペアリングモードにならない ペアリングができない	他の機器が接続済みになっていないかご確認ください。2台以上の同時接続には非対応です。 周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所でもう一度お試しください。 本製品と不適合機種である可能性があります。ペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話等でも一度ペアリングをお試しください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000 (ゼロを4つ)」です。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話の接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない。	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を選択し、手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
片方から音が聞こえない	ペアリングが外れている可能性があります。手動で電源をオンにしたい場合、約2秒タッチセンサーを長押ししてください。
使用中に電源が切れる	耳への取り付け方により、タッチセンサーが誤反応する場合があります。その際は、一度両方のイヤホン充電ケースに戻して電源を入れ直し、イヤホンの角度を変えて耳に付けてください。
音が聞こえない	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。 テレビ(ワンセグ/フルセグ)放送の音声をお聞きになりたい場合、携帯電話機側がSOLMS-TIに対応しているかご確認ください。対応していない場合、テレビ放送の音声は聞けません。 A2DPもしくはオーディオでの接続ができていないかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
LINEや動画サイトの音声聞こえない	携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様で依存するため、今まで使えたものがアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができない場合があります。
ノイズが聞こえる 音がとぎれる	信号機の近くやWi-Fiアンテナが多く設置されている場所、駅や繁華街などワイヤレス機器が多く集まる場所などでは、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接続している場合や、携帯電話の電波が混雑しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通信品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎたり、イヤホンとイヤホンとの間に電波を遮断するような物や、電子機器などがないか確認してください。 携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ内に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。 自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周辺の電波を発信する機材が近くにいたり、工業設備、アンテナ施設などが近くに稼働している場合は、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。
通話、受信ができない	携帯電話のBluetooth機能がオフになっていませんか? 一部の携帯電話機では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定になっている場合があります。 着信中にタッチセンサーを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押すようにしてください。
本機からの通話発信(リダイヤル含む)ができない	本機からの電話発信(リダイヤル含む)はできません。携帯電話から通常操作してダイヤルするか、音声アシスタントをご活用ください。
使用中に電源が切れる	イヤホンの電池残量が少なくなっていないか? イヤホンの装着位置を調整する際などに誤ってタッチセンサーを長押ししてしまうと、電源がオフになってしまいます。 一時的なエラーの可能性もあります。一度イヤホン充電ケースに戻し、再度接続を試みてください。
マルチポイント接続ができない	一部の携帯電話などのBluetooth機器との再接続メニューがない機種同士の、本製品ではマルチポイント接続ができません。 Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話(一部)は、2台目として登録してください。